

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	27 公共交通 -安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めます-			
重点プロジェクト					
主管課	都市政策部 都市計画課			評価責任者	櫻井 進一
				評価日	令和2年7月3日
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、子育て支援課				
目標	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めます。				
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 民間の公共交通機関との連携 ○東武鉄道や民間路線バス事業者に対し「東武東上線改善対策協議会」や「ふじみ野市地域公共交通活性化協議会」などを通じて、利便性の向上、駅・踏切施設の改善、バス停留所の安全対策などの要望を行います。</p> <p>(2) 交通結節点の機能強化 ○市内公共交通の利便性をより高めるため、上福岡駅東口の駅前整備を進めます。</p> <p>(3) 市内循環ワゴンの充実 ○より便利で持続可能な市内循環ワゴンを目指し、市民のニーズを把握した上で、必要に応じ運行ルートやダイヤの見直しなどを行います。</p>				

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	市内循環ワゴン乗客数					
		説明	本格運行の開始から3年目を迎え、市民の方々にコース、ダイヤ等、市内循環ワゴンの利用方法が定着してきたことにより、市内循環ワゴン乗客数は増加しており、目標を達成した。					
		単位	人					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	48,465	48,465	48,465	48,465	48,465	48,465
		実績値	86,101	92,775				
	指標 2	指標名	市内循環ワゴン利用者の満足度					
		説明	令和元年度は、市内循環ワゴン利用者に対する満足度アンケートは実施しておらず、令和5年度に実施予定である。					
		単位	%					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	98.80	99.00	99.30	99.50	99.80	100.00
		実績値	-	-				
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	48,368	49,524	55,419			
	人件費	9,716	9,574	9,574			
収入	特定財源	0	0	0			
	一般財源	58,084	59,098	64,993			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	待合環境の改善	待合環境の改善を図るため、市内循環ワゴン停留所2箇所において、縁石を切り下げた。また、市民からの要望を受け、ふじみ野駅西口停留所へベンチの設置を検討した。	縁石の切り下げにより、バリアフリーにつながり、待合環境が改善した。また、ふじみ野駅西口停留所のベンチ設置については、令和2年度に実施し、待合環境の改善を図る予定である。	市内循環ワゴン運行事業
取組	有料広告掲載者の募集	持続的に市内循環ワゴンを運行させるため、公費負担の減少を目指し、ふじみん号への有料広告掲載者を募集した。	令和元年度は、介護ケア施設や病院の計2件の有料広告を掲載し、運行に係る収入の確保につながった。	市内循環ワゴン運行事業
取組				
取組				
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	市内循環ワゴンは、移動制約者の足の確保及び公共交通空白不便地域の解消の2点を目的として運行している。本格運行の開始から令和元年度で3年を経過し、市民の方々にコース、ダイヤ等、市内循環ワゴンの利用方法が定着してきたことにより、乗客数は増加しており、目標の乗客数を達成している。今後においても更なる利用者数の拡大による運賃収入や有料広告収入により、公費負担の減少を目指すとともに待合環境の改善などを実施し、また、ふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、コース・ダイヤ改正等の検討を行い、安全で便利な公共交通ネットワークづくりを推進していく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市内循環ワゴン運行事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	27 公共交通 -安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めます-			
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費			
所管部課		都市政策部 都市計画課		評価責任者	小川 尊志
事務事業期間		平成28年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等		道路運送法・活性化再生法			
事務事業の内容	事務事業の目的	市内循環ワゴンの運行により、公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図る。			
	事務事業の経緯	旧大井町で平成14年10月から運行を開始し、合併協議で事業を継続した上で、平成22年7月1日から路線とダイヤを見直し、全市域で運行を開始した。 平成24年度は路線とダイヤを見直すため、アンケート調査を実施した。 平成28年度は路線とダイヤを見直し、バスをワゴンタイプへ変更し実証運行を実施した。			
	事務事業の概要	公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図るため、市内循環ワゴンの運行を実施する。			
	令和元年度の主な取組	ふじみ野市地域公共交通活性化協議会では、市内循環ワゴン運行の評価・検証および今後の取組として上福岡駅・ふじみ野駅での乗り継ぎ、待合環境の整備などについて審議を行った。 アンケートを自転車駐車場で実施し、改善点等を把握した。 待合環境の改善として、縁石の切り下げを行い、停留所2か所のバリアフリー化を行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.20	1.20
		人件費	9,716	9,574	9,574
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		9,716	9,574	9,574	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	11	17	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	700	
	負担金、補助及び交付金	48,368	49,513	54,689	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	13		
支出合計		58,084	59,098	64,993	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		58,084	59,098	64,993	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		509	517	559	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内循環ワゴンの延べ乗客数		
	説明	公共交通空白・不便地域の解消、高齢者などの移動手段の確保、外出意欲の高揚、市民の移動利便性の向上を図るため、市内循環ワゴンを運営している。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	48,465	48,465	48,465
	実績値	86,101	92,775	
指標 2	指標名	利用者の満足度		
	説明	公共交通として、利用者満足度向上を図る。 令和元年度は利用者の満足度を調査するアンケートを実施していない。今後、アンケートの実施方法を検討する。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	98.80	99.00	99.30
	実績値	0.00	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>市内循環ワゴン運行事業 本格運行開始から3年目を迎え、ダイヤ・コースが定着しつつあり、乗客数を順調に伸ばしている。</p> <p>令和元年度乗客者数 92,775人</p>
	<p>有料広告の掲載 ふじみん号の有料広告について、令和元年度に新規で1社、広告の申込みがあった。 令和元年度は、2社（介護居宅サービス、病院）の広告を掲載した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後においても更なる利用者数の拡大による公費負担の減少を目指すとともに待合環境の改善などを協議し、持続可能で、より利用しやすい公共交通となるようにする。
中長期的方向性	
継続	